

老健 いばらき

第44号

2014.2.1



写真提供 / 桜川市役所商工観光課

『真壁のひな祭り』

発行所／一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人／平成園
小柳賢時

編集人／ゴーエン美浦
編集／ごぎょうの里
つくばリハビリテーションセンター
涼風苑
田尻ヶ丘ヘルシーケア
博純苑

岩瀬剛
宮田澄子
市原健一
池田八郎
石川達也
渡辺キヨ子

新年を迎えて

年頭のご挨拶

一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会

会長 小柳賢時

新しい年を迎えるにあたり、寒さが一段とひくくなるなか皆様は健康に留意なされ職務に励んでいらっしゃることと思います。

ことですが、社会構造の変化により消費税だけでは充分でなく、社会保障のなかの医療・介護において地域に見合ったシステム作りが早急に必要と考えます。今回の一回の医療費改定でも実質マイナス改定です。前回医療・介護同時改定では介護施設において大変きびしい結果でした。今後ますます高齢社会になり、寿命が延びれば医療・介護の費用が増えるのは必然です。どのような負担を誰がどんな形でしていくのかコンセンサスを決めていかなければなりません。

アベノミクスでデフレ脱却、中小企業で働く人々にも賃金アップと言われるなか、多職種の人々で構成される老健において、さらなる介護の質のレベルアップを求められ、そのモチベーションを保ち、職員を確保していけるのか不安に思う昨今です。

設介護・在宅介護それぞれが必要であり
一方向的な誘導は危険性を感じます。人
は自分で生まれ方を決めるることは出来ま
せん。生まれてからは日々死に向かって
歩んでいきます。そしてそれには必ず期
限があります。介護される方達だけでな
く、介護という仕事に携わった方々がそ
れぞれの人生観の中で介護という仕事に
向き合つて継続されていかれることを願
っています。今年も一年明るく元気によ
り過ごしましょう。

一般社団法人茨城県介護老人保健施設協会 副会長 大場正一

うかと考えますが、目に見えないところは等閑になりがちです。私たちの叡智で、これから起ころるであろう災害を予測し破壊が明らかにならないうちに早期に対応するところが必要かと思われます。

自民党政権になり、あつという間に秘密保護法案が成立してしまいました。新聞各紙はこのような法律ができてしまつたら大変なことになると言っています。しかし民主党政権時代にこの様なことを予測した新聞社があつたでしょうか?このような問題を予測して対応できるような先見性のある論説委員がいれば、社会ももっとよくなつてゆくのではないかと思いました。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

茨城県保健福祉部長寿福祉課介護保険室

室長 荒井正徳

あけましておめでとうございます。茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方に
は、日頃から、本県の高齢者福祉行政の推進並びに介護保険制度の円滑な運営に多大
なご協力とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年末、厚生労働省の社会保障審議会介護保険部会において、次期の介護保
険制度改革に向けた報告が取りまとめられました。

護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を実現していくことを目標に掲げ、そのために、在宅医療・介護の連携推進、認知症施策の推進、地域ケア会議の充実、生活支援・介護予防の充実など、地域支援事業の見直しを進めていくこととしております。

さらに、介護保険制度の持続可能性の確保のためサービスの充実と重点化・効率化を進めるために、予防給付（訪問・通所介護）の地域支援事業への移行や特別養護老人ホームの中重度者への重点化のほか、利用者負担の見直しとして、低所得者の1号保険料の軽減強化や施設サービスの補足給付を行う場合に利用者の資産等も勘案していくことなどが盛り込まれたところです。

県といたしましてはこのような国の動向を注視しつつ、今年も、市町村、関係団体、県民の皆様との連携を図りながら、「第5期いばらき高齢者プラン21」に基づき、各種の高齢者施策を進めています。

会員の皆様方におかれましては、今後、地域包括ケアシステムの構築を進めるうえで介護老人保健施設が地域の高齢者福祉・介護の拠点として大いに期待されておりますことから、引き続き利用者の立場に立つたケアやリハビリテーションなど、質の高いサービスをご提供されますよう、お願ひ申し上げます。

さて、昨年末、厚生労働省の社会保障審議会介護保険部会において、次期の介護保険制度改正に向けた報告が取りまとめられたところです。

この報告の中では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態になつても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まいを中心に、医療・介

むすびに、今後とも、本県の高齢者福祉行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、茨城県介護老人保健施設協会の益々のご発展を祈念いたします。ご挨拶といたします。

茨城県介護老人保健施設協会 功労賞受賞にあたつて

取手市介護老人保健施設 緑寿荘

課長 楢原 香代美

この度は茨城県介護老人保健施設協会より功労者表彰を賜り、誠にありがとうございます。これも偏に協会の皆様方の日頃よりのご指導の賜物と心より感謝申上げます。

当施設は平成4年に常磐線のベットタウンとして発展した取手市に開設し、昨年は創立20周年記念を祝う式典を盛大に行なった。又、昨年は公益財団法人として認可され、地域の高齢者施設として、その一翼を担う施設と発展いたしました。

私も、入職21年になりますが当時は病院勤務の経験しかない私にとって認知症等、高齢者のケアに対して毎日、試行錯誤の連続でした。しかし、ここまで続けてこれたのもご利用者様の、「ありがとう」の言葉や笑顔、そして先輩方のご指導があつたればこそと感謝しております。

現在、施設ではご利用者様のケアの実践として「THF運動」を推進して安心安全のケアサービスの提供を致しております。

具体的には

- ①Thinking Care
- ご利用者様の立場に立つて考える介護
- ②Hugging Care
- ご利用者様の考え方により添う介護
- ③Follow Up Care

そして介護老人保健施設の理念と役割のつどもある在宅復帰施設としても在宅復帰に向け、介護教室や、施設独自にセミナーの開催を、施設長

中心に多職種共同で行い在宅復帰も3~5割を維持しております。現在、取手市は高齢化しております、介護施設の重要性が増しております。

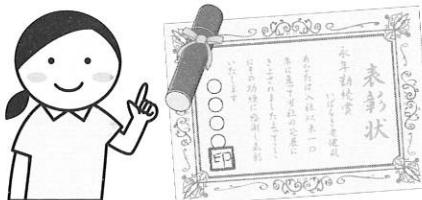
これからもご利用者様が満足いただけるよう、THF運動にある常にご利用者様の立場に立つて考え、寄り添い、最後まで関わっていく介護を行い、「その人らしさを出していく」ケアサービスの提供を心がけ努力してまいります。

最後に茨城県介護老人保健施設協会の皆様方の益々のご発展と、健勝をお祈り申し上げましてお詫び挨拶とさせていただきます。

永年勤続者表彰 受賞にあたつて

介護老人保健施設 日立南ヘルシーセンター

看護師 松本 松枝



施設名	職種	氏名	勤続年数
生きいき俱楽部	事務職	高嶋國男	14年
大宮フロイデハイム	科長	鈴木三智子	13年1ヶ月
温泉リハビリセンター虹の丘	看護師	吉成亮子	15年
ケアセンター阿見	介護係長	大竹裕子	17年
ござようの里	看護師長	備海加代子	11年
さくら	看護職員	土田洋子	11年
さざんか荘	看護師	伊藤有美	18年
サンフラワー東海	看護師	山口好美	10年
シニア健康センターしおさい	看護師	平山真希子	15年
そよかぜ	介護福祉士	武類晃介	17年
取手市介護老人保健施設緑寿荘	看護師	楳原香代美	20年

あつという間の22年間、長いよう短いような22年間、立ち止まるこのなかつた22年間。このあと何年勤務できるのかわかりませんが、本日の表彰を励みとして、これからも介護老人保健施設日立南ヘルシーセンターの一員として頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

『功労者職員』表彰一覧

施設名	職種	氏名	勤続年数
生きいき俱楽部	事務職	高嶋國男	14年
大宮フロイデハイム	科長	鈴木三智子	13年1ヶ月
温泉リハビリセンター虹の丘	看護師	吉成亮子	15年
ケアセンター阿見	介護係長	大竹裕子	17年
ござようの里	看護師長	備海加代子	11年
さくら	看護職員	土田洋子	11年
さざんか荘	看護師	伊藤有美	18年
サンフラワー東海	看護師	山口好美	10年
シニア健康センターしおさい	看護師	平山真希子	15年
そよかぜ	介護福祉士	武類晃介	17年
取手市介護老人保健施設緑寿荘	看護師	楳原香代美	20年

施設名	職種	氏名	勤続年数
シニア健康センターしおさい	看護師	佐藤敏子	11年
シニア健康センターしおさい	運転員	大森静夫	10年
シルバーケア土浦	事務職	田端友子	10年3ヶ月
シルバーケア土浦	介護福祉士	近藤祐介	10年11ヶ月
シルバーケア土浦	介護福祉士	大畠美香	10年4ヶ月
シルバーケア土浦	介護士	岡田智史	10年11ヶ月
シルバービリレッジ	介護職員	野村 甚	10年4ヶ月
シルバービリレッジ	介護職員	武田光司	10年
シルバービリレッジ	介護職員	市塚憲司	10年
しろかね	介護職員	吉原秀子	13年9ヶ月
しろかね	介護職員	真下悦子	13年9ヶ月
青嵐荘ケア・アシスタンス	介護支援専門員	原田みどり	10年
そよかぜ	介護福祉士	坂本一美	17年
つくばケアセンター	介護福祉士	木本裕一	13年
つくばケアセンター	介護福祉士	飯田貴生	12年
つくばケアセンター	介護福祉士	泉雅樹	12年
つくばケアセンター	介護福祉士	海老原健彦	11年
つくばケアセンター	介護福祉士	飯村智成	11年

施設名	職種	氏名	勤続年数
つくばケアセンター	ヘルパー級	高橋正浩	11年
つくばケアセンター	介護福祉士	坂井敏岳	11年
つくばケアセンター	介護福祉士	大津朋典	10年
取手市介護老人保健施設緑寿荘	看護師	盛京子	20年
ナーシングホームかたくり	介護職員	細谷歌子	10年
ナーシングホームかたくり	支援相談員	森敦志	10年
ナーシングホームかたくり	支援相談員	飯田英美子	10年
ナーシングホームかたくり	主 任	廣瀬友範	11年
ナーシングホームかたくり	介護職員	高橋三枝	13年
ナーシングホームかたくり	看護職員	根本照子	10年
ナーシングホームかたくり	介護職員	重藤ひろみ	10年
日立南ヘルシーセンター	看護師	松本松枝	22年6ヶ月
平成園	准看護師	上野千加子	10年
ゆうゆう	清掃	中村昭一	11年7ヶ月
ライブリーライフ「那珂」	介護福祉士	高沢早苗	14年
ライブリーライフ「那珂」	看護師	瀬谷十三子	13年
リヒトハウス北浦	支援相談員	飯田真由美	12年
リヒトハウス北浦	事務長	斎藤望	13年

『永年勤続職員』表彰一覧

施設名	職種	氏名	勤続年数
エバーグリーン	事務職	入野誠一	10年1ヶ月
エバーグリーン	介護士	加藤愛	10年
大宮フロイデハイム	准看護師	篠田浩子	10年11ヶ月
温泉リハビリセンター虹の丘	看護師	鈴木悦子	15年
温泉リハビリセンター虹の丘	介護支援専門員	齋藤明美	15年
温泉リハビリセンター虹の丘	介護士	菊池千代子	14年
温泉リハビリセンター虹の丘	介護福祉士	菊池和江	14年
温泉リハビリセンター虹の丘	介護士	角田礼子	14年
温泉リハビリセンター虹の丘	介護士	斎藤典子	13年
ござようの里	看護師	水越まさえ	13年
さくら	介護職員	村木直美	10年
さくら	介護職員	福島恵	10年
さざんか荘	介護職員	小林良子	17年
さざんか荘	介護職員	大島亜紀	17年
サンフラワー東海	看護師	高野妙子	10年

職種別専門委員会委員長挨拶

す。新年を迎え、謹んでお慶び申し上げま
平成園 館野 富直

介護老人保健施設の職員の皆様におかれましては益々のご活躍を心よりお祈りいたしております。

昨年は看護・介護専門委員会にて、研修会を二回開催させていただきました。

平成園
館野
室

平成園
館野
富直
んでお慶び申し上げま

成龍の「忠義」二三

の職員の皆様におたれま
確を心よりお祈りいたし

此卷八

該専門委員会にて、研修

いただきました。

一日に『負担のかから

【ない介助方法】古武術介護の提唱者岡田慎一郎氏を講師に招きました。

岡田慎一郎氏は身体障害者、高齢者施設に勤務し、独自の身体介助法を模索する中、武術研究家の甲野善紀氏と出会い、古武術の身体運用を参考にした「古武術介護」を提案したところ大きな反響を呼びました。

近年は介護、医療、リハビリ、育児支援、教育など、幅広い分野で身体を通して発想と実践を開拓させ、講演、執筆、企業アドバイザーなど多岐にわたる活動を行っている方で、今回実施研修をして頂き、ボディバランス・股関節の使い方などを用いる事により、日々、現場職員が腰痛で悩まされる中、今回の研修会で職員負担の軽減に繋がる内容でした。当施設でも、腰痛に悩まされる職員が多く研修会を参考します。アンケート調査の中で、再度、岡田氏の研修会を開催してほしいと多くの希望がありました。

支援相談員専門員委員会

ライブリー・ライフ「那珂」

柏智也

策・予防に努めて行きたいと思います。
看護・介護専門委員会は、今後とも皆様の
ニーズに沿う研修会を開催し、多くの参加
をして頂ける様、委員ともども協力し合
います。頑張っていきますので、よろしくお願ひ致
します。

新年あけましておめでとうございます。今年度におきましても一回の研修会を行ない、御多忙の中、多数の参加をいただきまして誠にありがとうございました。

第一回目の七月には、『情報交換会』を開催致しました。事前に皆様からご協力をいただいた質問事項を参考に ①加算について ②相談業務について 各グループにて分かれて話し合い、交流を深めることもございました。

第二回目は十月に、『インテークについて～老健利用目的の明確化～』を介護老人保健施設 若宮苑（群馬県）副施設長 安藤 繁先生を招き、短い時間の中でインテークの重要性を改めて確認できるような講義いただきました。

参加された皆様には、毎回アンケートにご協力いただきありがとうございました。さまざまのご意見、ご要望をお聞きました。今後におきまして、アンケートの意見を参考により良い研修会を開催していきたいと思っておりますので、多数の参加をお待ちしております。

くるみ館 鈴木 祐子

新年を迎えて謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、春に各地区に分かれて栄養士の顔合わせも含めた研修会を実施しました。近くの施設の栄養士が集まるところで、日頃困っていることや悩んでいることの相談を持ち寄った、充実した研修内容になりました。

また、秋には専門委員会のアンケートで多くの回答を寄せられた「嚥下ピラミッド」について水戸医療センターの言語聴覚士、磯野敦先生に講演をしていただきました。わかりやすい説明でとても充実した講演でした。そして午後には(株)明治より「低栄養・褥瘡について」試供品提供を含めた講演を行つていただきました。その後、グループワークを設け、各施設で嚥下食についての対応のしかたを話し合うなど私自身とても勉強になりました。

本年も、研修会を開催していくので、多数の参加とご協力を願っています。

事務専門委員会

ゆづらう 橋本 直之

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。日頃より当委員会の運営にご協力いただけ、ありがとうございます。

さて、設備投資においても今まで以上に厳しい状況を強いられることがあります。その分、若干ではありますが介護報酬に上乗せされるとの見通しですが、当然ながら利

用者負担も増加するから、より質の高いサービスを求められることになります。皆様方におかれましては、これまで以上にご尽力されることと推察致します。

平成25年における当委員会の活動としましては、8月に常陽産業研究所より講師を招き、接遇研修を行いました。挨拶、電話対応、クレームの初期対応などどれも施設の接遇向上においてすぐに活かせる内容となりてあり、多職種、大勢の方々にご参加いただきました。

研修後のアンケートでは参加人数76名のうち、71名が「実のある研修だった」との回答をしており、それぞれ各施設での接遇向上にお役立ていただけたこと存じます。

また、10・11月には意見交換や事務職員相互の親睦を深めることを目的とした座談会を実施しました。

10月には県北施設を対象として9施設11名、11月には県南施設を対象として13施設19名の方々にご参加いただきました。参加者の経験年数は様々でしたが、同じ目的を持つた事務職員ということでとても和やかな雰囲気の中でそれぞれ日常業務における各施設での取り組みや悩みなど幅広く意見交換することが出来ました。なかでも求人活動や未収金問題、在宅復帰への取り組みなどが盛んに議論され、有意義な研修となりました。

このように事務専門委員会では皆様方のお役に立てる研修会を開催致しますので、本年も引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

リハビリテーション専門委員会
委員長 國谷 伸一

平成26年1月17日は「介護予防・機能訓練を支援するDKエルダーシステム～音楽を使う・体を使う・目で見る～」コンセプトに介護予防を行う機器紹介、3月14日は茨城県訪問リハビリテーション協議会共催で「訪問リハビリテーション事例検討会」を予定しております。

今後も有意義な研修会の企画・運営を心掛けていきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力の程宜しくお願い致します。



●2013年7月19日 再発事故ゼロを目指した施設内安全管理



●2013年11月15日 通所リハビリテーションバーチャル施設見学の研修会のシンポジウム

援相談員の横山信介氏に発表していただきました。講師の所属施設が在宅復帰機能強化になるまでの取り組みや多職種連携の具体的方法、支援相談員のマネジメントの重要性などについてご講義頂き、仕事に対する熱意を感じることができました。

11月15日は「通所リハビリテーション～バーチャル施設見学」のテーマで4つの通所系サービス事業所に発表していただきました。その後は、シンポジウム形式で活発な質疑が行われました。

リハビリテーション専門委員会
活動報告

本年度は前年度と同様に6回の研修会の実施予定となっております。

今年度最初の研修会は平成25年5月17日に「地域包括ケアにおける老健の役割～老健の役割とリハビリテーション～」について全老健副会長の内藤圭之氏にご講義いただきました。在宅復帰機能に偏った介護報酬改定や現在の老健施設の課題、地域包括ケアの中核としての老健施設の役割など今後の老健施設の方向性についてご提示いただきました。

7月19日には「再発事故ゼロを目指した施設内安全管理」のテーマで本会の副委員長の鈴木悠史氏にご講義いただきました。聴講形式とグループワーク形式を合わせた講演会で、今後の本会の新しい研修会の形を発掘するきっかけとなりました。

9月20日は「支援相談員からの在宅復帰支援」について老健くるみ館の支

「地域の高齢者を地域の老健で支える」

介護老人保健施設ラプラス津田は、平成17年12月に開設し、8年が経過しました。

ひたちなか市南西部に位置し、周囲には田園風景が広がり自然豊かな環境にあります。

春の田植え、秋の稻刈りの時期になると施設のご利用者様も田んぼの様子を楽しみにご覧になられています。また、8月の納涼祭では花火が打ち上げられ、地域のお祭りとしても毎年賑わいをみせています。

ラプラス津田には介護職員として入職し、3年ほどご利用者様の日常生活の支援に携わっておりましたが、現在は相談業務に従事しています。

ご利用者様が安心して過ごして頂けるために、自分には何ができるのかを考えさせられることばかりではありますが、常に感じることは「言葉の大切さ」です。老健では、各職種がそれぞれの分野の特徴を持ってご利用者様を支援していく訳ですが、支援相談員は主に「言葉」を用いてご利用者様・ご家族様を支援していくことになります。インターク、サービス担当者会議、各職種への的確な情報伝達、関連事業所との連絡調整等、様々な場面で人とのコミュニケーションを経験するようになり、自然に言葉の大切さを教えられている気がします。



介護老人保健施設 ラプラス津田
岩間 文男（介護支援専門員）

老健は、中間施設として在宅復帰支援の機能と役割を果たすべきですが、ご利用者様にとって「生活の場」でもあることを忘れてはならないと思います。我々には「生活を支える」という役目があり、ご利用者様にとって居心地の良い場所であるよう努めなくてはなりません。多職種協働で在宅復帰支援を目指していくことはもちろん重要な役割ですが、毎日を過ごしていくたびに施設の環境整備に努めることも生活意欲の向上に繋がる重要な要素であると思います。昨年、施設の表庭に職員の手によって色彩豊かなイングリッシュガーデンが完成し、ご利用者様にも大変喜ばれています。

施設名である「ラプラス」という言葉は、フランス語で「居心地の良い場所」という意味で、私達職員にとって働きやすい場所であって、ご利用者様にとって安心して生活しやすい場所、地域の方には無くてはならない施設になるよう、今後、より一層地域に開かれた老健を目指し、「地域の高齢者を地域の老健で支える」という役割を担っていきたいと思います。

これからも謙虚な姿勢を忘れず、相談業務に励んで参りたいと思います。

スタッフからの 『笑顔は・・・継続なり！！』

当施設では、ご利用者様の【笑顔】の為に様々な取り組みを行っています。

春の食事会は、ご利用者様とご家族、スタッフと一緒に食事を楽しめる機会を、と始まり皆様に好評の行事となっています。

秋祭りは、スタッフで構成された和太鼓チームの演奏が毎年恒例となり、その音と迫力は圧巻です。また、なかなか出掛けることの出来ないご利用者様に外出の機会を・・・という思いから始まった外出クラブは、水族館・美術館・お買い物・外食等、ご利用者様の希望に応じ毎月実施しています。

ご利用者様の【笑顔】の為にと始まった様々な取り組みは、ご利用者様の笑顔は勿論、結果的に私達スタッフの笑顔にも繋がっていると感じています。

現在当施設では、従来型ケアからグループケアへの転換



介護老人保健施設 おはよう館
益子 美由紀（介護福祉士）



を目指し、昨年より準備を進めています。新しい事を始めるには、困難が沢山ありますが、今まで行ってきた数々の取り組みや行事も、始めは大変でも継続していく事で当然の事となり、後に定着へ繋げる事が出来ています。それらは、スタッフの理解と協力、ご利用者様の笑顔があってこそ進めていくものでした。

16年前、この仕事を始めたばかりの頃「介護は究極のサービス業」というフレーズを耳にし、その言葉が今でも胸に残っています。老健の役割である機能回復・在宅復帰を担いつつ、楽しみと潤いのある生活を送って頂く為に、今私に与えられた職務を全う出来る様、スタッフと協力しながら、様々な事に取り組んでいきたいと思います。



ようこそ 介護老人保健施設いなしきの郷へ

当施設は、稻敷市の利根川と田園風景に囲まれた水と緑あふれる環境にあり、地域の方にとっては馴染みのある風景であり、ご利用者様には四季を感じながら生活していただける施設です。

施設の概要は、ショートステイを含む入所定員が100名、通所リハビリテーション定員40名のほか訪問リハビリテーションを行い、今後、地域における介護老人保健施設の役割を充実させるべく地域ケアへの貢献も課題として事業に取り組んであります。

当施設は、現在ある介護老人保健施設としては少数派だと思いますが、入所者の8割がユニット型での入所生活をされています。具体的には、入所定員100名のうち80名が個室で、8ユニット(10名×8ユニット)のユニットケアを開拓しています。そのため、ユニット単位でスケジュールを管理しており、スタッフも各ユニットの専属の配置のため、ユニットによって趣向や特色に違いがあります。

そのため、あるユニットでは家庭菜園を行い、季節ごとの野菜を収穫し、利用者様とスタッフが焼き芋作りや鍋などを囲んだり、通所リハビリでは流しそうめんやあやつ作りを楽しみ、他のユニットでは生涯学習として書道教室等を行うなど、家庭らしさの再現によるアットホームな雰囲気を演出し、また、生活の中で楽しみや生きがいを創出するために興味をもって参加できるイベントやアクティビティ等を提供しています。

その中でも当施設が開設当時から行っている取組みとして、「ユニットクック」というものがあります。ユニットクックを一言で説明するならば、「移動調理」といったところでしようか。これは、毎月1回、厨房スタッフがユニットに訪問

し、屋台による簡易キッチンを用い利用者様の目の前で調理を行います。この企画は、利用者様が熱々のものをフーフーいいながら食べられたら良いのにというスタッフの想いかから始まり、揚げたての天ぷらやあでん、屋台風焼きそば・たこ焼き等利用者からの人気メニューを提供しています。

最近では、ご利用者様はもちろん、面会等で来所されたご家族様やスタッフも癒されればと足湯(暖めたセラミックの石に足を入れる器具)を導入しました。効果としては、今のか寒い時期に足が暖まり、しかもリラックスできると多くの方から好評です。

今後、老健におけるユニットケアなどのように展開されるか懸念はありますが、ユニットケアという少人数との関わりであるがゆえに実現可能なことが多くあり、今ある環境を活かし、新たなサービスやアイデアを発信しながら、老健として地域に貢献できる施設運営を目指すと同時に、スタッフにとって働きやすく誇りを持てるような環境づくりに邁進していきます。

最後になりますが、協会員施設の皆様には、今後も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**社会福祉法人 広文会
介護老人保健施設 いなしきの郷**
〒300-0749
茨城県稻敷市佐原組新田1378-1
TEL 0299-79-3811 FAX 0299-79-3812
<http://www.koubun.or.jp>



みんなの広場

温泉リハビリセンター虹の丘 (大子町)



●ガーランド

余り布を利用した作品です。利用者様それぞれの個性的なアイデアで明るく仕上がり、一つひとつが違った作品に出来上がり、とても魅力的なガーランドになりました。



●しめ縄飾り

結婚式を迎えた職員のご祝儀袋の水引を頂き、正月飾りのしめ縄を作りました。丸くした縄に水引を通しただけですが、利用者皆様、願いを込めて一生懸命仕上げました。



●たき丸(大子町のゆるキャラ)

厚紙を同じ幅に切った物を手で丸めて台に貼り付けました。最初は何が出来るかわからなかつた利用者様も完成と同時に、喜びと達成感を味わつた作品となりました。

ばんなん白光園 (神栖市)



●クリスマス

リハビリの一環で、毎月貼り絵や折り紙で作品を作っています。
12月は、「クリスマス」1月は、「絵馬」がテーマでした。廊下を賑やかに楽しめてくれます♪



●絵馬



●フラワーアレンジメント

フラワーアレンジメント教室は毎月一回行い、1月は「お正月」をテーマに開催しました。毎月、園の入口を彩ってくれます。ご家族様にも観ていただいています。

—編集後記—

表紙は真壁のひな祭りです。歴史ある町割りは国の登録有形文化財に登録され、平成22年には国の重要的伝統的建造物群保存地区に選定されました。来てくれる人に何か出来る事はないかと始まった真壁のひな祭りは2月4日から3月3日の間、開催されます。雛人形を飾る施設が多いかと思いますが3月3日を一日でも過ぎると「はやくあひな様を片付けましょう！」と女子スタッフの声が今年も聞こえてきそうな婚活の春もそこまでやって来ています。今回号の発行にあたりご協力いただきました皆様方に深く感謝いたします。

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会

水戸事務局

水戸市千波町1918 (月・金 9:00~13:00)
TEL.029-291-5376 FAX.029-291-6057

平成園

古河市旭町1-17-39 介護老人保健施設 (左記以外時間帯対応)
TEL.0280-31-5998 FAX.0280-31-7767